

# 花はな通信

花のまちづくり情報 Vol.9



■工藤美喜江さん／島松寿町在住

## 気軽に花を育てるのが楽しい

昨年8月、第3回目となる恵庭フラワーガーデニング・コンテスト「花風人」(個人部門15件、企業工場部門1件、特別参加1件のエントリーがありました。)の審査が行われました。今回は、個人部門で「花風人グランプリ」を受賞された工藤美喜江さん(島松寿町在住)のご自宅に今年1月にお邪魔し、お話をうかがいました。お部屋の中にはゼラニウムや観葉植物の鉢植えがたくさん置かれていました。

花への興味は何時頃からですか。

私の出身が道南の松前町で、素晴らしい桜を見ながら育ったからかもしれませんが、物心つくころから花はとても好きでした。昭和43年から恵庭に住んでいますが、そのころから結構花は育てていました。この家建てる前は市営住宅にいたのですが、そのときでも越冬用の花の鉢が130個以上ありましたので、部屋じゅう鉢だらけでした。そして、昭和50年にこの家を新築してからは、さらに、本格的にやっています。今では、シーズンになるとゼラニウム、ペチュニア、サフィニアなどのプランターを250個くらい作っています。さらに、去年は、息子がいろいろな木製のプランターを作ってくれましたので、それらに植え込んで楽しんでいます。

ふだん心がけているようなことが何かありますか。

シーズンは朝5時ころから2～3時間と夕方に水やりとか花ガラつまみなどをするのが毎日の日課になっています。ですから、花の世話は、もう完全に生活の一部になってしまっていますので、特に何か心がけているということはありません。とにかく自分で自分なりに気軽に花を育てるのが本当に楽しいのです。



▲息子さんが手作りの木製馬車も見えます。

今年はどのようにしようと思っていますか。

あれこれ考えてはおりますが、なかなか変わったことはできません。どうしても、例年と同じような植え方になってしまうのですが、今年は、ゼラニウムはちょっと少なめに、色については白と赤をメインにして、中にブルーを少し取り入れてみようかと思っています。

## 第3回恵庭フラワーガーデニング・コンテスト審査結果

【個人部門】

審査日:8月6日

| 氏 名     | 住 所   | 賞        |
|---------|-------|----------|
| 工 藤 美喜江 | 島松寿町  | 花風人グランプリ |
| 田 端 敏 幸 | 恵み野南  | 花風人賞     |
| 中 村 春 義 | 住 吉 町 | 花風人賞     |
| 舟 木 汎 子 | 中 島 町 | 花風人賞     |



▲250個もの見事な花のプランターが並んでいます。

# 第3回園芸福祉全国大会in北海道を終えて

昨年の8月29日、30日の両日、恵庭市、北広島市を会場に「第3回園芸福祉全国大会in北海道」が開催されました。

今回の大会は、道内では初めての開催で、全国から園芸福祉の関係者が2日間で延べ1000人が参加しました。大会のメインテーマを「ガーデンアイランド北海道をめざして」とし、初日は、北広島市で基調講演とシンポジウム、2日目は、恵庭市において5つの分科会が開催されました。

基調講演は、東京農業大学学長の進士五十八氏から「ガーデンアイランド北の国構想」と題してお話がありました。先生は、「北海道を舞台にガーデンアイランドを作してほしい。北海道の人は、豊かな自然の風景を財産に持っていることを自覚し、今後は、一つひとつの風景をつなぎ、大きなネットワークを作らなければならない。そのとき、日常生活も組み合わせて行くべきである。これまでの観光は、もっぱら美しい風景だけを見せてきた。産業や生活と言った人間が生きるために必要な部分をもっと堂々と打ち出すべき。花で飾ったまちをつくるだけが花のまちではない。たくさんの生産者がこのまちに住んでいるということを示す方法もある。」と講演されました。

シンポジウムは、「ガーデンアイランド北海道をめざして」と題して、コーディネーターは北大名誉教授黒柳俊雄氏、パネリスト



分科会

はNPO法人長崎さんさん21代表井石八千代氏、(株)グリーンダイナミクス代表取締役賀来宏和氏、(有)紫竹ガーデン代表取締役紫竹昭葉氏、(株)アレフ代表取締役庄司昭夫氏、(有)緑花計画代表取締役笠康三郎氏、コメンテーターは基調講演された進士五十八氏が参加して開催されました。パネリストからは「日本で使われている植物の大半をいきいきとした形で使えるのは北海道だけ。」「庭造りは、自分の人生の姿であり、自画像と言ってもよい。だから、庭を造るガーデニングは、とても大切な仕事である。」「オープンガーデンというシステムが定着することによって、ガーデニング好きの皆さんの交流が盛んになり、ようやく花のまちづくりの縦系に横系が通った感じがする。」などの意見が出されました。

2日目の分科会では、「環境とまちづくり」、「花と元気」、「花による経営戦略」、「市民が取り組む園芸」、「園芸が取りもつ緑」などのそれぞれのテーマで活発に討論がなされました。



開会式

## クライストチャーチから素敵なプレゼント

昨年9月20日、13回目を迎えた「恵み野フラワーガーデニングコンテスト」にニュージーランドのクライストチャーチ美化協会から銀のプレートと賞状が届きました。同コンテストの始まりは、世界的に有名なクライストチャーチのガーデンコンテストを恵庭市民が実際に現地で勉強してきたことがきっかけとなっているのですが、2年前に恵庭商工会議所の事業で恵庭に招待されたクライストチャーチ美化協会の会長夫妻がその事を知って、遠く離れた地で、自分たちのまちづくりが永年手本として生かされている事にとても感激され、今回のプレゼントにつながったのです。この事は、恵み野の皆さんが長年の取り組んでこられた花のまちづくりがガーデニングの本場から認められたことにもなります。



銀のプレートと賞状

# 新フラワーマスター紹介

昨年、北海道のフラワーマスターに認定された秋葉厚子さん(恵み野西在住)に花との出会いやフラワーマスターとしての抱負などについてご自宅でお話を伺いました。



秋葉厚子さん

## 【花との出会いは。】

もともと園芸関係がとても好きだったのですが、札幌の北区に住んでいたときに、叔母が近くで花屋をやっておりまして、お店が忙しいときに手伝ってありました。そのときに本格的な花との出会いの始まりです。平成3年に今のこの家を建ててから恵み野に住んでいますが、恵み野のお花屋さんにも6年間ほど勤めたことがあるのですが、そのときも随分勉強になりました。お客さんからお花に関していろいろなことを質問されますので、自分なりに調べたり、社長さんやお客さんに教わったりしたことがとても良かったと思います。

## 【ガーデニングはなぜ始めましたか。】

平成4年に第3回恵庭・花とくらし展の中で「花のプランターコンテスト」という催事があって、そこに作品を出展したところ、そうしましたら、入選という賞をいただいたのです。それからすっかり夢中になって、毎年プランターを中心にガーデニングを楽しんでおります。また、3年ほど前から主人もハンキングバスケットを作るようになったので、共通の話題が増えました。

## 【最後にフラワーマスターとして何か抱負があれば。】

これまでは、個人としての活動が主でしたが、これからは、恵み野が花で美しくなるような活動のお手伝いをしていきたいと思っています。現在は、恵み野花づくり愛好会という団体に加入して「千人植通り」という所の花植えや花とくらし展で仲間と一っしょにバザーなどもやっております。また、具体的に将来の希望を言わせていただければ、恵み野中央公園と野外音楽堂をもっと花で飾って行けたらと思っています。



昨年の花とくらし展にて(左から3番目が秋葉さん)



秋葉さんの自宅

## 第15回恵庭・花とくらし展

- |        |                                         |
|--------|-----------------------------------------|
| メインテーマ | 花もよし、風もよし、人もよし、ここが恵庭。                   |
| と き    | 平成16年6月26日(土)、27日(日)                    |
| と ころ   | 恵庭リサーチ・ビジネスパークセンタービル<br>(恵庭市恵み野北3丁目1-1) |



昨年の花とくらし展

今年は節目の15回目。恵庭をもっともっとアピールします。イベントも大好評の「ガーデンツアー」、「フラワーマーケット」、「寄せ植えお楽しみ抽選販売」など盛りだくさんです。皆様の来場を心よりお待ちしております。

# 花のまちづくり講演会開催のご案内

- ◆と き：平成16年3月20日(土) 開場13時、開演13時30分
- ◆ところ：恵庭リサーチ・ビジネスパークセンタービル  
3階視聴覚室(恵庭市恵み野北3-1-1、TEL0123-36-3113)

- ◆講 師：(有)ホリーホックガーデン代表取締役  
**奥 峰子 氏**

- ◆演 題：「小さな庭のガーデニング」

奥氏は、「'90国際花と緑の博覧会」において優秀賞、金賞を受賞。「NHK趣味の園芸フェスティバル」(銀座松屋)のメインディスプレイを長年にわたり担当され、また帯広市「紫竹ガーデン」づくりに携わる。NHK教育テレビ「NHK趣味の園芸」の講師も務める。

またとない機会かと思えます。

御誘いあわせのうえ是非おこし下さい。

※当日は著書の販売も予定しております。どうぞご利用ください。

- ◆参加費：無料(申込み不要)

- ◆主 催：恵庭花のまちづくり推進会議、恵庭市花いっぱい文化協会  
恵庭市緑化推進委員会

- ◆後 援：恵庭市

(問合せ先) 恵庭花のまちづくり推進会議事務局／恵庭市建設部花と緑の課  
TEL0123-33-3131(内線2524)



ついで保管しましょう。

■発行■  
恵庭・花のまちづくり推進会議  
北海道恵庭市京町1番地  
恵庭市花と緑の課内  
TEL0123(33-3131 FAX0123(33-3175  
発行日：平成16年3月15日



市では、市の花スズラン(在来種)をなんとか増やそうと北柏木の公園予定地と光と風の里内で試験栽培を行っています。

在来種のスズランには、確立された栽培法はまだありませんが、過去の経験から雑草の除去を徹底すると株数は増えると言った事なので、ここ5、6年間は、雑草の除去のみを徹底してやってきました。しかし、残念ながらまだ目に見えて増えていたとは言えません。そこで、昨年から、雑草の除去と合わせて一部に施肥してみることになりました。これを2年間続けてみて、施肥しないところと違いがあるのかどうかを確認するためです。いずれにしても、スズランの株数が増えてもつと皆さんの身近なものになれば良いと思います。

## スズランだより